

国立大学法人東京工業大学情報倫理ポリシー

(目的)

本ポリシーは、学問の自由、思想の自由、表現の自由を保障する理念にのっとり、本学における情報の活用、操作に関して、法的あるいは社会的通念から倫理上問題となる行為を防止し、情報の適正かつ円滑な利用を促進することによって、教育研究の充実に資することを目的とする。

(遵守事項)

本学において、情報の活用、情報の発信行為を行おうとする者は、情報には価値があり、それにかかわる行為に広い影響力と責任があることを認識し、次に掲げる事項を厳守する。

- (1) 著作権、特許権などの知的財産権で法律上保護される情報の利用については、権利者の権利を尊重する。
- (2) 秘密に管理されている情報の秘密性を尊重する。
- (3) 個人のプライバシーを遵守するとともに、情報の操作においては、それが与える人権に対する影響に留意する。
- (4) 公序良俗に反する情報の取得、発信行為を行わない。
- (5) 業務上集積された情報の管理者、情報通信の管理者は、これにより知り得た情報を私的目的及び業務外目的のために利用しない。
- (6) ある目的を持って提供を受けた情報は、情報提供者の承諾なしに他の目的に利用しない。
- (7) 情報の処理、蓄積、通信を行うシステムの円滑なシステム運用に協力する。
- (8) 情報の処理、蓄積、通信を行うシステムは、教育研究を円滑に行う目的のみに用いる。
- (9) 常に公共の利益や社会の発展を念頭におき、情報の操作、情報の発信を行う。